

鎌倉市旧村上邸保存活用事業

神奈川県鎌倉市／平成28年竣工

鎌倉市景観重要建築物「旧村上邸」を企業研修施設「旧村上邸 一鎌倉みらいラボ」として活用するプロジェクトです。建物の外観や佇まいはそのままに、会議室・能舞台・茶室を中心とした複合施設にリニューアルされています。公募型プロポーザルで選定された民間事業者が、クラウドファンディングを活用し、ボトムアップの市民参加型で、新しいひとのつながりを生む場をつくる取組です。

「旧村上邸」を、鎌倉市が提唱する「SDGs 未来都市かまくら」の「SDGs のショーケース」としての役割を担い、環境・経済・社会の3側面をつなぐ統合的取組のモデルとなることが目指されています。具体的には、旧村上邸の環境が恒常的に保全されること（環境面）、旧村上邸の活用を起因として、鎌倉で働く、鎌倉の人々と働くことが増えること（経済面）、旧村上邸の活用を起因として、鎌倉に住む人・関係人口が増えること（社会面）を目標としています。

事業概要

- 所在地：神奈川県鎌倉市西御門2-8-22
- 土地面積：約 1,700 m²
- 事業主体：株式会社エンジョイワークス
- 主要施設：会議室、ラウンジ、能舞台、茶室、キッチン
- 事業スキーム等：

鎌倉市によるサウンディング調査、公募型プロポーザル、業務委託、旧村上邸保存活用協議会設置、投資型クラウドファンディング

取組のポイント

- 歴史的建造物であり地域のランドマークである旧村上邸の活用により地区の景観保全に貢献
- 地域のコミュニケーションを活発にし、地域の関係人口を増やす役割
- 公募型プロポーザルを経た公民連携により、PRE(公的不動産の活用) による土地の利活用、持続的な運営の仕組みの構築

